

地球紛争下の子どもたち 地-1～地-33

地-1



基地の前で、ビスケットをもらうために国連軍兵士を待つ少年たち（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

地-2



産まれてすぐ捨てられた新生児を診察する医師。この子の母親はレイプの被害者だ。（クロアチア、ザグレブ）

地-3



タンザニアのルワンダ難民。自分の家と故郷を捨てなくてはならないことは、老人や障害者たちにとっては特に辛いことだ（タンザニア）

地-4



1994年6月中旬現在、タンザニアに約41万人のルワンダ難民がいる。そしてこの難民の数は毎日500～1500人増え続けている。（タンザニア）

地-5



タイとの国境のメコン川を渡り、国境標識まで帰ってきたタイからの帰還者たち（ラオス、ビエンチャン）

地-6



ブータン難民の子どもたちは、校舎がないため授業もテストも野外で行う（ネパール、ジャバ）

地-7



カンボジア難民の子どもたちの授業風景（タイ、カオイダン）

地-8



1994年4月6日、戦争が始まってから24時間後に約25万人のルワンダ人がタンザニアに逃れた（タンザニア、カゲラ地方）

地-9



トラック輸送隊ごっこをして遊ぶブータン難民の子どもたち（ネパール、ジャバ）

地-10



ソマリアから帰還したエチオピア難民の子どもたち（エチオピア、ジジカ）

地域紛争下の子どもたち

地 -11



キスマヨからモンバサ港に着いた船には、足の踏み場もないほどソマリア難民が乗っていた(ケニア)

地 -12



約 70 万人のブルンジ難民は、生き延びるために国外に逃れた(ルワンダ、ブタレ)

地 -13



多数のソマリア難民を収容するために、大規模なキャンプが数カ所に設けられた(ケニア、リボイ)

地 -14



地下シェルターに入るナゴルノ・カラバフ自治州の国内避難民(アゼルバイジャン、アグジャベジ)

地 -15



ミャンマー難民のために十数カ所にキャンプが設けられたが、まだ適当な避難場所を持っていない難民が多い(バングラデシュ、コックスバザール)

地 -16



ブルンジ難民の親子(ルワンダ、ブタレ)

地 -17



家族の食事を用意するための薪を拾いに行く難民女性。その距離はだんだん遠くなっていく(ケニア、リボイ)

地 -18



ミャンマー難民キャンプでは、水道と下水の整備が緊急課題となっている(バングラデシュ、コックスバザール)

地 -19



難民センターでは、水道や下水施設が悪く衛生状態が非常に悪化している(アゼルバイジャン、バクー)

地 -20



破壊された家に戻ってきたクロアチアの女性(スロベニア、リピク)

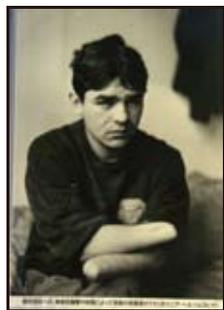
地域紛争下の子どもたち

地 -21



兵士の横に立つ子どもは、兵士のライフルに手をかけている (ボスニア・ヘルツェゴビナ)

地 -22



居住地区への、無差別爆撃や地雷によって多数の死傷者がでた (ボスニア・ヘルツェゴビナ)

地 -23



廃墟となったブコバルの街 (クロアチア)

地 -24



文字パネル 子どもの権利条約

地 -25



文字パネル 悲惨な戦いをつづける旧ユーゴの紛争

地 -26



文字パネル ラテン・アメリカの主な地域紛争

地 -27



文字パネル 部族対立の悲劇・ルワンダの紛争

地 -28



文字パネル 難民とは

地 -29



文字パネル 国連の平和維持活動 (PK0)

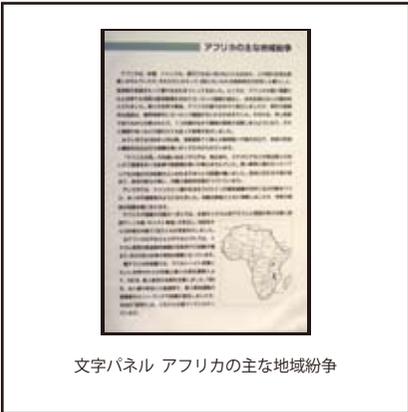
地 -30



文字パネル 欧州・旧ソ連の主な地域紛争

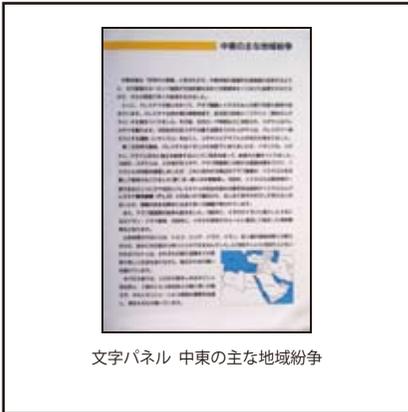
地球紛争下の子どもたち

地 -31



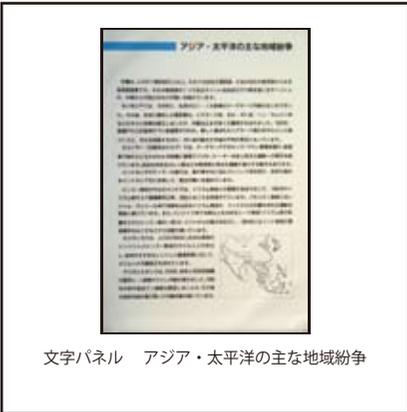
文字パネル アフリカの主な地域紛争

地 -32



文字パネル 中東の主な地域紛争

地 -33



文字パネル アジア・太平洋の主な地域紛争